



# **SMB**サーバに関するその他のタスクの管理

## ONTAP 9

NetApp  
February 12, 2026

# 目次

SMBサーバに関するその他のタスクの管理 .....	1
ONTAP SMBサーバを停止または起動する .....	1
ONTAP SMBサーバを別のOUに移動する .....	2
ONTAP SMBサーバを移動する前にダイナミックDNSドメインを変更する .....	2
ONTAP SMB SVMをActive Directoryドメインに参加させる .....	2
ONTAP SMB NetBIOS over TCP接続に関する情報を表示します。 .....	4
SMBサーバーを管理するためのONTAPコマンド .....	5
ONTAP SMB NetBios ネーム サービスを有効にする .....	6

# SMBサーバに関するその他のタスクの管理

## ONTAP SMBサーバを停止または起動する

ユーザがSMB共有を介してデータにアクセスしていない間に作業を行う場合は、SVM上のCIFSサーバを停止すると便利です。SMBアクセスを再開するときは、CIFSサーバを起動します。CIFSサーバを停止することによって、Storage Virtual Machine (SVM) で許可されているプロトコルを変更できます。

### 手順

1. 次のいずれかを実行します。

状況	コマンドを入力してください...
CIFSサーバを停止する	<code>`vserver cifs stop -vserver vserver_name [-foreground {true</code>
<code>false}]`</code>	CIFSサーバを起動する
<code>`vserver cifs start -vserver vserver_name [-foreground {true</code>	<code>false}]`</code>

`-foreground`` コマンドをフォアグラウンドで実行するかバックグラウンドで実行するかを指定します。このパラメータを入力しない場合は ``true`` に設定され、コマンドはフォアグラウンドで実行されます。

2. ``vserver cifs show`` コマンドを使用して、CIFSサーバーの管理ステータスが正しいことを確認します。

### 例

次のコマンドは、SVM vs1のCIFSサーバを起動します。

```
cluster1::> vserver cifs start -vserver vs1

cluster1::> vserver cifs show -vserver vs1

                                Vserver: vs1
                                CIFS Server NetBIOS Name: VS1
                                NetBIOS Domain/Workgroup Name: DOMAIN
                                Fully Qualified Domain Name: DOMAIN.LOCAL
                                Default Site Used by LIFs Without Site Membership:
                                Authentication Style: domain
                                CIFS Server Administrative Status: up
```

### 関連情報

- [検出されたサーバに関する情報の表示](#)

- [サーバのリセットと再検出](#)

## ONTAP SMBサーバーを別のOUに移動する

CIFSサーバのcreateプロセスでは、別の組織単位（OU）を指定しないかぎり、セットアップ時のデフォルトのOUであるCN=Computersが使用されます。CIFSサーバはセットアップ後でも別のOUに移動できます。

### 手順

1. Windows サーバーで、**Active Directory** ユーザーとコンピューター ツリーを開きます。
2. Storage Virtual Machine (SVM) のActive Directoryオブジェクトを見つけます。
3. オブジェクトを右クリックし、\*移動\*を選択します。
4. SVMに関連付けるOUを選択します。

### 結果

選択したOUに、SVMオブジェクトが移動します。

## ONTAP SMBサーバを移動する前にダイナミックDNSドメインを変更する

SMBサーバを別のドメインに移動する際に、SMBサーバのDNSレコードがActive Directoryに統合されたDNSサーバによってDNSに動的に登録されるようにするには、SMBサーバを移動する前にStorage Virtual Machine (SVM) 上の動的DNS (DDNS) を変更する必要があります。

### 開始する前に

新しいドメイン (SMBサーバ コンピュータ アカウントの移動先) のサービス ロケーション レコードを含むDNSドメインを使用するよう、SVM上のDNSネーム サービスを変更する必要があります。セキュアDDNSを使用している場合は、Active Directoryに統合されたDNSネーム サーバを使用する必要があります。

### タスク概要

DDNS (SVM上で設定されている場合) はデータLIFのDNSレコードを新しいドメインに自動的に追加しますが、元のドメインのDNSレコードは元のDNSサーバから自動的に削除されません。手動で削除する必要があります。

SMBサーバを移動する前にDDNSの変更を完了するには、次のトピックを参照してください。

["ダイナミック DNS サービスを構成する"](#)

## ONTAP SMB SVMをActive Directoryドメインに参加させる

`\vserver cifs modify``コマンドを使用してドメインを変更することで、既存のSMBサーバを削除せずに、Storage Virtual Machine (SVM) をActive Directoryドメインに参加させることができます。現在のドメインに再参加することも、新しいドメインに参加することもできます。

#### 開始する前に

- SVMにはすでにDNS構成が存在している必要があります。
- SVMのDNS構成は、ターゲットドメインに対応できる必要があります。

DNSサーバに、ドメインLDAPおよびドメインコントローラサーバのサービスロケーションレコード(SRV)が格納されている必要があります。

#### タスク概要

- Active Directoryドメインの変更を続行するには、CIFSサーバの管理ステータスを`down`に設定する必要があります。
- コマンドが正常に完了すると、管理ステータスは自動的に`up`に設定されます。["ONTAPコマンド リファレンス"](#)の`up`の詳細を確認してください。
- ドメインに参加する場合、このコマンドが完了するまでに数分かかることがあります。

#### 手順

1. SVMをCIFSサーバドメインに参加させます。 `vserver cifs modify -vserver vserver_name -domain domain_name -status-admin down`

`\vserver cifs modify``の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-cifs-modify.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-cifs-modify.html)["ONTAPコマンド リファレンス"]を参照してください。新しいドメインのDNSを再設定する必要がある場合は、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/search.html?q=vserver+dns+modify](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/search.html?q=vserver+dns+modify)["ONTAPコマンド リファレンス"]の`vserver dns modify`の詳細を参照してください。

SMBサーバのActive Directoryマシンアカウントを作成するには、`example.com`ドメイン内の`ou=example ou`コンテナにコンピュータを追加するための十分な権限を持つWindowsアカウントの名前とパスワードを指定する必要があります。

ONTAP 9.7以降、AD管理者は、特権Windowsアカウントの名前とパスワードを提供する代わりに、キータブファイルへのURIを提供できるようになりました。URIを受け取ったら、`vserver cifs`コマンドの`-keytab-uri`パラメータに含めてください。

2. CIFSサーバが目的のActive Directoryドメイン内にあることを確認します： `vserver cifs show`

#### 例

次の例では、SVM vs1上のSMBサーバ「CIFSSERVER1」が、keytab認証を使用してexample.comドメインに参加します。

```
cluster1::> vserver cifs modify -vserver vs1 -domain example.com -status
-admin down -keytab-uri http://admin.example.com/ontap1.keytab
```

```
cluster1::> vserver cifs show
```

Vserver	Server Name	Status Admin	Domain/Workgroup Name	Authentication Style
vs1	CIFSSEVER1	up	EXAMPLE	domain

## ONTAP SMB NetBIOS over TCP接続に関する情報を表示します。

NetBIOS over TCP (NBT) 接続に関する情報を表示できます。この情報は、NetBIOSに関連する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

### 手順

1. `vserver cifs nbtstat` コマンドを使用して、NetBIOS over TCP 接続に関する情報を表示します。



IPv6経由のNetBIOSネーム サービス (NBNS) はサポートされていません。

### 例

次の例は、「cluster1」に表示される NetBIOS ネーム サービス情報を示しています：

```

cluster1::> vserver cifs nbtstat

Vserver: vs1
Node:    cluster1-01
Interfaces:
          10.10.10.32
          10.10.10.33
Servers:
          17.17.1.2 (active )
NBT Scope:
          [ ]
NBT Mode:
          [h]
NBT Name      NetBIOS Suffix  State   Time Left  Type
-----
CLUSTER_1    00                       wins    57
CLUSTER_1    20                       wins    57

Vserver: vs1
Node:    cluster1-02
Interfaces:
          10.10.10.35
Servers:
          17.17.1.2 (active )
CLUSTER_1    00                       wins    58
CLUSTER_1    20                       wins    58
4 entries were displayed.

```

## SMBサーバーを管理するためのONTAPコマンド

SMBサーバを作成、表示、変更、停止、開始、削除するコマンドについて説明します。また、サーバのリセットと再検出、マシン アカウント パスワードの変更またはリセット、マシン アカウント パスワードのスケジュール変更、NetBIOSエイリアスの追加や削除を行うコマンドもあります。

状況	使用するコマンド
SMBサーバーを作成する	<code>vserver cifs create</code>
SMBサーバに関する情報を表示する	<code>vserver cifs show</code>
SMBサーバを変更する	<code>vserver cifs modify</code>

SMBサーバを別のドメインに移動する	<code>vserver cifs modify</code>
SMBサーバを停止する	<code>vserver cifs stop</code>
SMBサーバを起動する	<code>vserver cifs start</code>
SMBサーバを削除する	<code>vserver cifs delete</code>
SMBサーバ用にサーバをリセットおよび再検出する	<code>vserver cifs domain discovered-servers reset-servers</code>
SMBサーバのマシン アカウント パスワードを変更する	<code>vserver cifs domain password change</code>
SMBサーバのマシン アカウント パスワードをリセットする	<code>vserver cifs domain password change</code>
SMBサーバのマシン アカウントの自動パスワード変更をスケジュールする	<code>vserver cifs domain password schedule modify</code>
SMBサーバ用のNetBIOSエイリアスを追加する	<code>vserver cifs add-netbios-aliases</code>
SMBサーバ用のNetBIOSエイリアスを削除する	<code>vserver cifs remove-netbios-aliases</code>

``vserver cifs``の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/search.html?q=vserver+cifs](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/search.html?q=vserver+cifs)["ONTAP コマンド リファレンス"]をご覧ください。

## 関連情報

"SMBサーバを削除したときにローカル ユーザとローカル グループが受ける影響"

## ONTAP SMB NetBios ネーム サービスを有効にする

ONTAP 9以降では、NetBiosネーム サービス（NBNS、Windows Internet Name Service [WINS]とも呼ばれる）がデフォルトで無効になります。以前のリリースでは、WINSがネットワークで有効かどうかに関係なく、CIFS対応Storage Virtual Machine（SVM）が名前登録のブロードキャストを送信していました。NBNSが必須の構成でのみこのブロードキャストが送信されるようにするには、新しいCIFSサーバに対してNBNSを明示的に有効にする必要があります。

### 開始する前に

- すでにNBNSを使用しているシステムをONTAP 9にアップグレードした場合、このタスクを実行する必要はありません。NBNSはそれまでと同様に機能します。

- NBNSはUDP（ポート137）経由で有効になります。
- IPv6経由のNBNSはサポートされていません。

#### 手順

1. 権限レベルをadvancedに設定します。

```
set -privilege advanced
```

2. CIFSサーバでNBNSを有効にします。

```
vserver cifs options modify -vserver <vserver name> -is-nbns-enabled true
```

3. admin権限レベルに戻ります。

```
set -privilege admin
```

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。